

# 珠算能力検定 1・2・3 級試験受験者への注意

(一般社団法人日本珠算連盟珠算能力検定試験準 1 級・準 2 級・準 3 級準用)

制定 昭和 28 年 4 月 1 日

改定 昭和 33 年 3 月 1 日

昭和 42 年 4 月 1 日

昭和 54 年 4 月 1 日

平成 3 年 4 月 1 日

平成 13 年 4 月 1 日

平成 14 年 4 月 1 日

平成 16 年 4 月 1 日

平成 25 年 4 月 1 日

1. 試験開始時刻を間違えないように注意してください。時間に遅れると原則受験できません。
2. 受験者は、試験開始時刻までに入場し、指定された席につくこと。
3. 受験するときに持参するもの。
  - (1) 受験票
  - (2) 筆記用具
  - (3) そろばん
  - (4) 氏名、生年月日、顔写真のいずれも確認できる身分証明書（運転免許証、旅券（パスポート）、社員証、学生証など）。ただし、小学生以下の方は必要ありません。
4. 答案記入上の注意
  - (1) 答は、定められた欄の中に、はっきりと書くこと。
  - (2) 答の 1 の位又は円の位以上には、3 位ごとにコンマ「,」を付けること。
  - (3) 無名数の答は、次の例のように書くこと。

(例)  $0.25$   $1,427.39$   $2,905,406$
  - (4) 端数処理をした無名数の答は、次の例のように書くこと。

(例) 小数第 3 位未満の端数を四捨五入したとき。

|              |                                   |
|--------------|-----------------------------------|
| <u>そろばん面</u> | 答                                 |
| $0.4595$ ……  | $0.460$ $0.46$                    |
| $5.2004$ ……  | $5.200$ $5.2$ ( $5.20$ とは書かないこと。) |
  - (5) 端数処理をしなかった無名数の答は、次の例のように書くこと。

そろばん面

|           |   |
|-----------|---|
| $0.45$ …… | $0.45$ $.45$ ( $0.450$ 又は $.450$ とは書かないこと。) |
| $5.2$ ……  | $5.2$ ( $5.20$ 又は $5.200$ とは書かないこと。)        |
  - (6) 名数の答は、次の例のように書くこと。

(例)  $¥9,528$      $¥9,528.$      $¥9,528$      $9,528$

( $¥9,528.0$   $¥9,528¥$   $¥9,528$  円  $9,528¥$  のような書き方はしないこと。)
  - [注] 答の頭には、円の記号（¥）を付けるのが原則であるが、付けなくてもよい。
  - (7) 答を縦に書いたり、二段に書いたりしないこと。

- (8) 答を書き直す場合は、その答の全部を横線で消して書き直すこと。
- (9) 答を書き直す場合は、定められた欄の中に書けないときには、欄外に書いて、答の頭にその問題の番号を○又は（ ）で囲むか、その欄又はその問題と矢印で結んで書くようにすること。
- (10) 答を二つ以上書いたり、同じ数字やコンマ、小数点でも二重に書いたり、なぞったりしないこと。
- (11) コンマや小数点は、数字の間に書き、数字に触れたり、数字に重ならないようにすること。

## 5. その他の注意

- (1) 計算開始の合図があるまでは、文鎮・下敷きなどを用いて、計算の準備をしないこと。
- (2) 計算開始の合図があるまでは、問題用紙を開かないこと。
- (3) アラーム時計を使用するときは、音を出さないようにすること。
- (4) 受験票を紛失したり、忘れてしまった場合は、試験当日、試験開始前に再交付を受けて受験すること。
- (5) 携帯電話の電源は完全に切れるようにしておくこと。